

かさま 社協だより

No.28



編集・発行 2015.12.24

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



4世代が一同に集合した町田家の皆さん（岩間地区）

撮影：横堀

もくじ

- ① 茨城県社会福祉大会から 2
- ② みんな元気で仲良くが一番 3
食のセーフティネットの輪を広げよう
- ③ みんなでささえ合って
～敬老祝賀会～ 4
- ④ `地域づくりは仲間づくり、を
合言葉に配食活動を通して 5
- ⑤ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑥ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

第65回茨城県社会福祉大会

市内のボランティア15団体と
個人21人が表彰される

11月17日、土浦市民会館で、第65回茨城県社会福祉大会が開催され、棒高跳びの練習中の事故で車いす生活になった濱宮郷詞さんの、逆境にもあきらめず立ち向かう、勇気の出る記念講演。土浦第二高等学校合唱部の感動的な合唱（トウモロコウ、小さな世界、他）が行われました。その後の式典で、県内各地の功労者の顕彰が行われました。
本市関係者を紹介します。
(敬称略)

茨城県知事表彰

- 社会福祉施設職員**
山口 良子 グリーンハウスみと
小林 直美 かまどりーんハウス
- 社会福祉団体関係者**
倉持 淳子 笠間市社会福祉協議会

社会福祉援護功労者

- 深谷 忠 心配ごと相談員
笠間点訳の会 ボランティア
大井 レタリエーション
ゆりの会



- 精神保健ボランティア 友(TOMO)
友部おもちゃ図書館 ととろのいえ
もみじの会 さくらの会
ハートレインボー ナマステの会
シニア体験サポーター ボランティア
しだれ桜 傾聴ひまわり
立花 広紀

茨城県社会福祉協議会
会長表彰

- 社会福祉協議会役員**
船橋 慶子 笠間市社会福祉協議会理事

社会福祉施設役員

- 前田 常男 城北福祉会理事
小嶋 正広 城北福祉会評議員

社会福祉協議会職員

- 富施 信行 笠間市社会福祉協議会

社会福祉施設職員

- 今成 良江
富田 輝雄

自立更生者

- 飯嶋みち子 佐白の館
菊池 雅江
梶山よし子

ボランティア

- 久野 恭子
後藤 尚美 笠間市くるす保育所
渡邊 美樹

ボランテア

- 鈴木 亮二
旭フレッシュ健康体操
野菊の会

※氏名記載辞退者がいますので、表彰者数と記載者数は異なります。



記念講演 車椅子の熱風講師 濱宮 郷詞さん
演題 「困難を乗り越え強く生きる」



18歳のスपोर्ट少年が、棒高跳びの事故で車いす生活に。逆境に立ち向かう濱宮さんの講演の概要を報告します。
苦労してコンピュータの技術を習得して就職。奥さんと結婚。その時、義父に「濱宮くん、人間は、身体が不自由な事よりも、心の不自由の方が問題だよ」と言われ感動した。色々な人が手を貸してくれたおかげで寝たきりから立ち直ることができた姿を多くのの人に見て何かを感じてもらいたい。

最後に、皆さんにメッセージということで、「私は生きています。トイレもお風呂も一生懸命生きています。私もこれからも、ボロボロになるまで前に向かって生きていきます。そして私は死ぬ時、お父さん、お世話になったよ、そう言われたい。皆さんも一度きりの人生、自分らしく、自分のペースで、カッコ良く生きていってください」(藤森)

色々な角度から見ても、自分の短所をよく見つけ、違う方向から見よう。昨日を悔やまず、今日を大切に、明日に前向きに生きよう。
一度きりの人生、どんなに辛く苦しくても、自分で一歩踏み出さなければ何も始まらない。あなたの命はあなただけの命ではない。あきらめずに、自分のペースで一歩一歩進んでほしい。

濱宮郷詞さんのプロフィール

神奈川出身。5歳の時に父親が目の前で倒れ死亡。母親に手手ひとつで姉と共に育てられる。サッカーや棒高跳びで活躍。県高校記録樹立。高校3年の試合前練習中に落下、首の骨を折り手足が動かぬ車いす生活に。持ち前の負けん気と努力、ボランティアの協力等でコンピュータ技術や運転免許を取得。就職、結婚、3つ子の父親となる。幾多の困難にもめげないパワフルに生きる姿が感動を与え、テレビで再現ドラマ化。全国各地で講演を行う。著書「負けてたまるか」は、茨城県教育委員会推薦図書となる。

みんな元気で仲良くが一番

9月21日、敬老の日に岩間地区泉地内の町田家ご家族を訪問取材させていただきました。（表紙写真）

ご家族は通夫さん・とし江さんご夫婦と、父弘さん94歳、母ふじ子さん90歳、また子どもさんご夫婦とお孫さんの4世代7人が同居しています。

当日は、弘さんとふじ子さんの敬老と通夫さんの還暦祝いを兼ねて、嫁いだ2人の子ともさん夫婦とお孫さんも参加し、総勢14人が一同に集まって、石岡でお祝い会を開いて帰ってきたところでした。

町田家は、通夫さんで3代目の内装業（経師）を家業としています。



親子でおすまし...



ひ孫をだいてほっこり

父弘さんは、20歳で横須賀海軍に入隊し、トラツク諸島やラバウルの戦地で、生きるか死ぬかの経験を経験されました。その後は家業に専念し、たまにはご夫婦での年金友の会の旅行を楽しんでいたそうです。

今は、特に好き嫌いもなく病気もせず、散歩や孫・ひ孫の成長を楽しみにしているそうです。

母ふじ子さんととし江さんも嫁いだ時から大家族で苦労されたそうですが、今は「子どもや孫・ひ孫がみんな元気で仲よく生活出来ることが一番の幸せです」と話されていました。（鬼澤）

食のセーフティネットの輪を広げよう

NPO法人フードバンク茨城 理事長 大野 寛

フードバンクをご存知ですか？賞味期限内で食べられるにも関わらず、様々な理由で廃棄される食品（食品ロス）を企業や市民等からいただき、困窮者支援団体や福祉施設等にお届けする市民活動です。

国内だけで食品ロスは毎年500〜800万トン生まれ、おにぎりを毎日ひとりあたり1個以上捨てている計算になります。食品が捨てられる理由も、包装や印字の破損・ミス、限定食品の売れ残り、防災備蓄品の切り替えなど様々。一方、日本の相対的貧困率は16.1%、子どもの貧困率も16.3%と、先進国の中でも悪い状況です。特にひとり親世帯の貧困率が54%と非常に高いです。「もったいない」という言葉を生んだ日本で食品が捨てられる一方、食に困る人が大勢います。そこで環境と福祉の両面から、食の命をつなげるのがフードバンクです。

茨城では2011年に活動が始まりました。全国でも30を超える団体が生まれています。企業・団体からは、飲料、お菓子、調味料など少品種大量でいただくことが多く、27の児童福祉施設、24の障がい

者施設、6の高齢者施設等、利用者の多い福祉施設にお届けします。日持ちするお米や野菜に限り、農家からもいただきます。笠間のお寺からも度々食品をいただいています。またご家庭に眠る缶詰、インスタント食品などをいただく「フードドライブ」という活動もあります。これは時間・場所の設定、告知、食の受け渡しを整えば、すぐに始められます。行事開催に併せ実施するなど、ご協力ください。

食品は笠間を含む27の社協や3つの自治体を通じ、ケースワーカーが食品提供が必要と判断した困窮者に配布されます。渡される食品に涙を流して喜ばれる方もいます。昨年度は948トンもの食品をいただき、67の福祉施設・団体に、社協には424回お届けしました。フードバンクの食品は、様々な福祉活動にも活かされます。高齢者見守りも、食品をお届けしながらお話を伺うと、会話もスムーズになるでしょう。

詳細はお気軽にフードバンク茨城にご連絡ください。
TEL 029-874-3001
月・水・金 10〜16時のみ

始めてみませんか「フードドライブ」

※「フードドライブ」の「ドライブ」というのは、「運動」「キャンペーン」というような意味です。

フードドライブで集めた食品をフードバンク茨城へ!

「フードドライブ」というのは、いただきものや、つい買いすぎてしまったものなど開封しないまま家庭に保管されている食品を、一般の方から集め、それをフードバンクを通じて活用する活動です。職場や学校、ご近所などでどなたでも始められます。

～フードドライブで寄付していただく食品～

◎穀類(お米・麺類・小麦等) ◎調味料各種・食用油 ◎保存食品(缶詰・瓶詰等) ◎飲料(ジュース・コーヒー・紅茶等) ◎ふりかけ・お茶漬け・のり ◎インスタント食品・レトルト食品 ◎ギフトパック(お歳暮・お中元) など

※それぞれ未開封で、賞味期限が2ヶ月以上残っているもの

フードドライブにご協力いただけるかたは、社会福祉協議会にお問い合わせください。
本所 02996(77)0730
笠間支所 02996(73)0084
岩間支所 02999(45)7889



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

みんなで ささえ合って

～敬老祝賀会～



総務省は9月21日の「敬老の日」に合わせて日本の高齢者人口(9月15日現在)を発表した。80歳以上は1000万人を越え、今年度だけで3万人が100歳を迎える。笠間市の100歳以上は58人(8月1日現在)今年度も各地区で敬老祝賀会が開催された。

笠間地区

元気を支える地域の力

池野辺地区敬老会

9月21日(月)穏やかな秋日和のもと池野辺公民館で敬老会が開催されました。

当地区の対象者は146人ですが、70人が出席され、米寿を迎えられた方が7人いました。

式典では、井口清実行委員長、菅井信市議会議員の挨拶がありました。そして、市長より米寿を迎えられた方々に祝状が贈られました。

テーブルには、前日より支部ボランティア女性部が仕込んだ手料理が並び「皆とおしゃべりをしながら食べると美味しいね」と言いながら箸の動きは止まりませんでした。そして、おしゃべりも……。

アトラクションとして、ギターを弾きながら歌を、三味線の演奏に合わせて民謡を歌い楽しんでいました。

久しぶりに顔を合わせた方は、元気に会えたことを喜び来年の再会を約束していました。実行委員は「来年も元気で会いましょう」と見送っていました。

井口さんは「小・中学校が

閉校となり一抹の寂しさを感じる。これからは公民館を核として活動していきたい。その始めとして6月にサロンを立ち上げた。月1回(第3月)年齢に関係なく多くの人と交流を図り、この地域で安心して過ごせるようにしていきたい。この地区は買い物不便利である。移動店舗を導入し、買い物に来てくれたお年寄りの安否の確認の場としていきたい」と熱く語ってくれました。

敬老会を取材させていただき、地域を思う心、人と人の結び付きの強さを感じさせられました。(埴)



岩間地区

みんなで踊る『ちりから踊り』

土師区敬老祝賀会

9月20日(日)土師公民館を会場に盛大に開催されました。

朝早くから紅白の幕など会場づくり、手打ちそばの準備、かき氷機の調整ほか。

式典が始まり、88歳の方々に市長より祝状、記念品が打越正男区長より渡され、今年90歳を迎えられた方々に、みずほの会会長より表彰状が送られました。

アトラクションとしてウクレレ演奏のボランティアサークル「ルアナ・ポエ」のハワイアン演奏、そして歌詞カードを見て皆さんで童謡を歌ったり皆さん楽しそうでした。

そして、公民館の南前庭で9月とは思えない強い日差しの中、淡島太鼓保存会による淡島太鼓(子どもたちが中心)が披露されました。最後を飾ったのは淡島太鼓に合わせた「ちりから踊り」が始まりました。力強い太鼓・かね・笛の調子にのり、小学生や中学生の踊りの輪の中に本日の招待者の80歳代の女性が、杖をぬれ縁において踊りの輪の中へ入り一周踊り切りました。身のこなしも軽く、とても印象的でした。

昼にはおいしい手打ちそばをごちそうになり、子どもたちとかき氷を食べ、楽しくあたたかく敬老祝賀会は無事終わりました。

(石郷岡)



地域づくりは仲間づくりを通して 合言葉に配食活動を通して

大旭支部女性部「にじの会」 伊藤由美子

社協大旭支部女性部「にじの会」は、現在、渡辺米子女性部長ほか40人の会員が4班に分かれ、毎月2回、第1・3火曜日、ひとり暮らし高齢者の方にお弁当の配食サービスを行っております。各班ごとに季節感を出し、食べ易いように工夫されたお弁当には、友部第二小学校の生徒たちが色ぬりした上紙をつけ、温かいうちに届けるよう心がけています。

女性部「にじの会」は、年2回、管理栄養士、小澤先生の指導のもと「お年寄りにやさしいお弁当作り」を学んでいます。
去る9月7日、社協友部会館の調理室で高齢者の食事学「配食弁当の作りかた」の研修会が行われました。安全でおいしいお弁当を召し上がっていただくために、衛生面、食中毒について学びました。
調理実習は、焼き春巻・春雨サラダ・野菜の七味和え・漬物・きのこご飯と季節感の



栄養バランスを考えてしっかり学びました

ある栄養バランスを考えられた献立ででした。実習は、にぎやかに楽しく、手際よく行われました。レシビどおりに作られたお弁当に満足、今後の配食活動に役立てたいと思えました。
平成3年女性部発足以来、「地域づくりは仲間づくり」を合言葉に活動してきました。これからもお互いに助け合い共に学び協力していきたいと思えます。

お茶のじかん

在宅で介護をされている方に、介護の仲間一緒におしゃべりをして、ひと息ついていただきたいと、月1回『お茶のじかん』を開催しています。在宅介護者の会の役員や介護を経験された方に協力していただき、いらした方の気持ちを理解しながら話ができる場になっています。
今年度前半は、風呂敷ラップングやパステルアート、ク

笠間市手をつなぐ育成会

笠間市手をつなぐ育成会（障がい者親の会）では、毎月第2水曜日に『第2水よう会』を開催しています。
会員に限らず、障がいの者家族を持つ保護者の皆さまが他では打ち明けられない悩みなどを話し、生活に役立つ情報を得て、気分転換をはかっていたり、気分転換をはかっています。
参加者からは、「先輩お母さんたちの育児経験を聞くことができ、安心した」「子ども

第2水よう会

の成長に合わせて起こるであろう、いろいろな問題を早めに聞けて嬉しい」「どんな小さな悩みでも打ち明けられる仲間ができて心強い」などたくさんさんの声をいただきました。今後も引き続き開催いたします。

ラフト講座を取り入れ、皆さまに楽しい時間を過ごしていただくことができました。
来て良かった、また来てみようと感じていただけるよう今後も活動していきます。

- ◆1月からの予定
友部社会福祉会館
点字手話室
- ◆2月4日(木)
社協笠間支所
相談室
- ◆3月10日(木)
岩間保健センター
和室

- ◆1月からの予定
岩間保健センター
- ◆2月10日(水)
社協笠間支所
- ◆3月9日(水)
なか健康センター

在宅福祉サービス

在宅福祉サービスは「困ったときはお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して生活できるように、家事や育児などのお手伝いをする有償サービスです。
前号で協会の募集を記載したところ9人が集まり、左記のように基礎研修会を開きました。

- ◆11月6日(金)
活動に入る前の心構え
体験学習(車いす・シニア)
- ◆11月13日(金)
中高年者の食生活
調理実習
- ◆11月20日(金)
協力会員の活動報告
訪問活動ロールプレイ

皆さんそれぞれに受講されました。最終日には数人の方が協力会員として登録。今後の活躍を期待します。(関)



◆在宅福祉サービスセンター
TEL 0296(78)3939



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では「廃油で石けんづくり」に挑戦し、廃棄物の有効活用を図りました。「イキイキ・さわやか・汗をかこう」においては、レクリエーションを通して健康向上に努めました。更に「施設見学」や「まゆ玉人形づくり」なども行いました。

また、講座を通して、一人でも多くボランティア活動につながればとそば打ち講座や「コーヒーの淹れ方講座」を開催しました。

ボランティア研修会には、多くの参加者が出席され、盛大に開催されました。

第二火曜日の会

9/1
「廃油で石けんづくり」
岩間保健センター

リサイクルで環境にやさしい石けんづくりを『ゴミを考える会』の3人を講師として参加者12人で行いました。

材料は使用済食用油・温かいご飯・苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）と熱湯。6日間熱湯を足してかき混ぜるとプリン状になって完成。

台所やお風呂場はもちろん泥汚れに最適です。



10/6
「施設見学」
笠間陽だまり館

今年の8月、友部地区に新しくできた特別養護老人ホーム『笠間陽だまり館』の見学会に、35人が参加しました。

個室ユニット型に定員70人、ショートステイ定員10人、デイサービスも受け入れています。出張理美容も整っています。

「イキイキ・さわやか・汗をかこう」 友部福祉会館2階

11/1
スペシャル

誰もが楽しめ、心身ともに健康生活を送るために、レクリエーションを行いました。



12/1
「まゆ玉人形づくり」
社協笠間支所

茨城生物の会会員堤徳郎さんに、まゆ玉を使い来年の干支の人形づくりを教わりました。（参加者16人）



来年の干支のさる

赤い羽根共同募金 『第一火曜日の会』これからの予定

H28年 2/2(火)	節分のお話し・恵方巻づくり	9:30~12:00 岩間保健センター
H28年 3/1(火)	「介護保険 ~こんな時どうしたらいいの?~」	10:00~11:30 友部社会福祉会館

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL. 0296-78-2626
詳しくは広報かさま お知らせ版をご覧ください。

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/25	友部支部	632,380円
10/31	笠間支部	402,790円
11/ 1	岩間支部	255,855円

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

- 友部支部 10月25日 友部公民館
- 笠間支部 10月31日 笠間芸術の森公園 『JA常陸ふれあいまつり』
- 岩間支部 11月1日 市民センターいわま 『岩間公民館まつり』

平成27年度
ボランティア連絡協議会
福祉バザー

ボランティア

住みよいまちづ



コーヒー講座

講座からボランティア活動に

自分で打ったそばは美味しい!

今年4月12日・26日を1回目、2回目は9月13日・27日に、初心者を対象とした男性だけの、そば打ち講座を開催しました。

その後、介護予防事業「お達者倶楽部」に参加のお年寄りの昼食に、自分達で打ったそばを一緒に食べることができました。

今は一カ月に一度のペースで昼食を提供できるよう、技をみがいていきます。自分達も楽しみながらボランティア活動にむけて頑張っています。



コーヒーの香りで
こころが癒される

9月14日・28日にひたちなか市サザコーヒーの鈴木会長を講師として「コーヒーの淹れ方講座」を行いました。多数の応募者があり、抽選で30人が受講することができました。

「世界のコーヒー」の勉強会や模範実演ののち、コーヒーの試飲をしました。

これからボランティア活動につながるように、参加した方々に理解と協力をお願いしました。



笠間市

平成27年度笠間市ボランティア研修会

認知症を理解し地域で支えよう・癒しのコンサート

ボランティア連絡協議会
副会長 太田 寛子

11月18日「笠間市ボランティア研修会」を笠間公民館にて300人弱のボランティアが参加し盛大に開催することが出来ました。

一部は「認知症を理解して地域で支えよう」をテーマに県認知症アドバイザーの方の講演と寸劇がありました。私にとっても未知のものでしたからとても参考になりました。地域にそのような人がいた場合、認知症サポーター研修で学んだように接することが出来るかどうか分かりますが、知らないよりは役



アドバイザーによる認知症の寸劇

に立つのかなとも思いました。まずは自分が認知症にならないよう気を付けて生活をしながらは。

二部は「癒しのコンサート」視覚障害者の御夫妻村上守様真理子様のギターとフルートのコンサート。力強いギターの音、静かな音色のフルート、このコンサートが良かったと思います。演奏の合い間に真理子さんの「ユズ」の話。段差歩道の障害物など「ユズ」じゃないと分からない事。そのあとで守さんから、白杖の話。白杖は耳・頭・勘・手足を使って行動する「ユズ」とあまり変わらな

いと皆を笑わせながら話をしてくださいました。

午後の一時認知症講演と心暖まるコンサートの研修会でした。

認知症サポーターとは、「認知症サポーター養成講座」を受けた人です。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。支援する目印として「オレンジリング」をつけて活動しています。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成27年7月1日～平成27年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済み切手多数	㈱フカツー、船橋 慶子、稲田小学校、勝山 真美・瑠美(稲田小学校)、石井スポーツ、社会福祉法人尚生会、(尚)清水工務店、㈱かねだ、おおしまセーフティショップ	バザー用品	さくら幼稚園PTA
エコキャップ多数	県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)、大沢保育園、岡野 けい子、いわま保育園、佐藤 剛、土師地区社協、くるす保育所、NPO法人なかよし学童保育の会(岩間第一小学校児童クラブ)、イチカワユニオン岩間支部、いきいきステップ下市毛、すみれこども園、不二製油(株)関東工場、サンエツ工業(株)、川井 伸一郎、なかよし学童保育の会、みか保育園、さくら幼稚園、泰栄電器(株)、青木 よし、菊地 やす子、額田 義文、㈱テクモア、友部小学校児童会、こじか幼稚園、福井 ふみ、池野辺子供会、いなだ保育所、長谷川 英俊、笠間工芸の丘	手作り品多数	コロナの手芸愛好会
エコキャップ多数、プルタブ多数	大原小児童クラブ(ボラの会)、興野ダンスアカデミー、おしの保育園、高齢者クラブ旭台睦会、笠間ゲートボールクラブ、(尚)伊藤石材工業、山中 としい、金子 大樹	タオル、手拭	第18区
プルタブ多数	佐白の館	未使用タオル、タオル	茨城県退職公務員連盟笠西支部笠間分会、茨城県退職公務員連盟笠西支部岩間分会
使用済み切手、はがき	笠間市民生委員協議会	未使用タオル、手ぬぐい等	鶴田 浩一
使用済み切手、書き損じ葉書、使用済みテレカ	笠間幼稚園PTA	スリッパ多数	NOGUUCHI WANPHEN
エコキャップ多数、使用済み切手多数	稲田小児童クラブ、てらざき保育所、茨城県障害者職業センター、めぐみこども園、(尚)笠間給食センター従業員一同	ミシン	森島 愛子
エコキャップ多数、配食弁当掛け紙	ともべ幼稚園	車イス	橋本 博行
エコキャップ多数、アルミ缶多数	ともべ保育所、さつき観光	中華めん	㈱笠間ソフトメン橋本屋
エコキャップ多数、プルタブ、使用済み切手	笠間西茨城森林組合	さつまいも多数	愛の里
エコキャップ、ヘルマーク多数	森田屋	未使用はがき、雑貨多数、掃除機、プロフバキューム、もち米、じゃがいも、きゅうり、食品、しょう油	匿名
お手玉、プルタブ多数	児山 甚子		
未使用はがき	ありんこ		

金 銭

株式会社フカツー	¥40,000
笠間稲荷門前通り おかみさん会	¥5,879
ふれんず	¥3,643
三友会	¥4,643
笠間語り部の会	¥8,000
北川根支部	¥5,000
更生保護女性会友部地区	¥3,798
コロナの会 手芸愛好会	¥10,000
創合会茨城支部道場	¥10,000
筑波国際教育学園	¥10,000
笠間市チャリティゴルフ大会実行委員会	¥135,853
J A常陸組合員ゴルフ大会	¥75,318
岡野 丹美	¥3,000
笠間給食センター従業員一同	¥12,100
匿名	¥115,229

訂正とお詫び

社協だよりNo27の支部(地区)社協運営委員が決まるの中で、誤りがありましたので、お詫びするとともに訂正させていただきます。

P5支部(地区)社協運営委員が決まる
【誤】塩垣幸三 【正】塩田幸三

9月から11月にかけて、多くの地区では、敬老祝賀会や三世代交流会がおこなわれました。今回の28号では、これらの中から、敬老行事に焦点を当て、岩間地区の土師地区、笠間地区の池野辺取材しました。

また、核家族の多い昨今、4世代が同居しておられる町田通夫さん御家族を訪問して、お話を聞くことができました。

高齢者への配食では、大旭支部女性部「にじの会」の活動を紹介しました。

「社協だより」の取材・編集に当たっては、3地区代表の広報委員がおこなっております。社会福祉に関する情報がありましたらお知らせください。

これから本格的な冬が到来しますが、寒さに負けない丈夫な体を維持し、新年(調)

編集後記

平成27年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)
時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	笠間支所 (毎週火曜日)	本 所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
月	社協笠間支所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
1月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・27日	7日・14日・21日・28日
2月	2日・9日・16日・23日	3日・10日・17日・24日	4日・18日・25日
3月	1日・8日・15日・22日・29日	2日・9日・23日・30日	3日・10日・17日・24日・31日

法律相談 ※事前に心配ごと相談所へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第4金曜日)	第1金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第2金曜日)	第2金曜日 10:00~12:00 (1月のみ第3金曜日)

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250